



# いっしょ

立山町立釜ヶ淵小学校  
ひばり級 学級だより  
令和3年 7月号

## 「どうして!?!」は 知識を増やす言葉

担任「さて、一服しようか」

K 「一服ってなあに？」

担任「一服って、お茶を1回飲んで休もう、ということだよ」

K 「じゃあ、6回お茶を飲んだら六服っていうの？」

担任「いや、6回お茶を飲んでも『一服』というんだよ」

K 「え〜!?! どうして!?!」

担任「そうだね、どうしてだろうね。『六服』というふうになると、お茶を飲むと休んでばっかりいるように思われるから、何度お茶を飲んでいても『一服』っていうのだと思うよ」

K 「ふーん・・・」

なんとか答えたものの、K君の質問にたじたじです。外は暑いのに、冷や汗をたっぷりかきました。数唱は「一枚、二枚・・・」「一人、二人・・・」と増えていくことを学習経験から学んでいたK君は、初めて聞いた「一服」も、お茶を飲む回数が増えていくのだらうと考えたのです。私自身、なんとなく「一服」を使っていたのですがK君のおかげで「日本語の面白さ・不思議さ」を考えることができました。

K君のコミュニケーション力が向上していることは、他の場面でも見られます。2年生までは担任と一緒に場所を清掃していましたが、3年生からは交流級のAさんやMさんたちと交代制で行っています。1週間ごとに場所が変わり、担任がそばにいないこともあります。そんなある日、Aさんがこんな話をしてくれました。

A 「先生、K君すごいがんぜ。6月3日(木)、校外学習だったねか？」

担任「そうだね」

A 「私、3日に呉羽青少年自然の家に行くことをすっかり忘れて、2日の日の掃除の時間『明日はK君がほうきをしてね。私、ぞうきんをするちゃ』って言ったら、『明日、自然の家だよ。あさって、(僕が)ほうき?』って言うてるがんぜ!?! すごくない!?!」

担任「本当に!?! それはすごいね! Aさん、教えてくれてありがとう!」

1年生のときは、子供たちがK君に伝えたいことを担任が具体的にやってみせて伝えていました。3年生になってからは交流する子供たちに「直接、K君に伝えて!」と話しています。縦わり班班長のMさんも、始めのうちは担任に「K君はさつまいもに水やりをしましたか?」と質問に来ていましたが、今では直接K君に質問をし「K君、今日はさつまいもの水やり当番だから、一緒にやろうか」と声をかけ、K君の気持ちを確認してから活動をしています。近くに担任がいないことで、K君と周囲の子供たちとの会話が増え、友達といっしょに活動する楽しさを感じているように思います。

## 休日の植物のお世話のお願い

今年もいろいろな植物や野菜を学校菜園で育てています。理科ではヒマワリ、ホウセンカ、ワタ、生活単元学習でスイカ、あおぞら級との合同学習でダイズ、ラッカセイ、トウモロコシ(ポップコーン用)です。これから暑くなります。休日に、水やりや草むしりなどの世話に来ていただき、家庭での話題の一つにしていただければ、日常生活で使う言葉が増えたり、労働の楽しさや収穫の喜びを味わったり、より実りある学習になると思います。よろしくお願いいたします。



## 3年生との校外学習

5月25日(火)、6月1日(火)に3年生で釜ヶ淵校区の町探検に行きました。神社や郵便局、公民館や消防団、釜ヶ淵駅、個人商店などです。ご家庭でもお出かけした際に、これらの施設の名前や何をするのかについてお話していただくと社会への関心が広がり、施設の名前を憶えやすくなるかと思えます。



神社



郵便局



消防団



川や橋

## たてやま営農組合

5月28日(金)にたてやま営農組合に行きました。たてやま営農組合では事務局長の酒井さんが説明をしてくださいました。K君に合わせて、分かりやすく答え、一緒にハウスを案内してくださいました。6月19日(土)の学習参観でまとめたり、発表したりする予定です。お楽しみに！

3年生「総合的な学習」では、立山町の良さを見付け、周囲の人々にお話しできることを目標にしています。ゆくゆくは「立山町子供観光大使」として、PRするお兄さんになってほしいと考えています。立山町のすてきなところをご存じでしたら、ぜひ教えていただければありがたいです。よろしくお願いいたします。



## 交通博物館

5月13日(木)3・4年生で交通博物館へ行きました。職員の方が分かりやすく自転車の乗り方やルールについて実地で教えてくださいました。(貸出自転車、ヘルメット、託児所あり。)